

[別添資料]

＝ 帰省に関する意識・実態調査 第2回『みんなの帰省事情』 ＝  
2011年1月8日(土)～2011年2月4日(金)にWEBマガジン「REAL SCALE」上でアンケートを実施  
回答者＝全国の2,371人 男性：1,456人／女性：915人  
20歳未満：46名／20歳代：425名／30歳代：706名／40歳代：618名／50歳代：432名／60歳以上：144名

[Q.1] この年末年始、実家や田舎に帰る「帰省」をしましたか？

◎ 「運命の人と出会った」ドラマチックな展開も！帰省にまつわる悲喜交交

男女別に見る帰省率、男性約4割、女性約5割と女性の方が若干高め、全体でも4割を超える人が帰省をしており、年末年始のニュースでよく見かける、帰省ピーク時の“渋滞が50km”“新幹線の乗車率が130%”等の情報も頷けます。

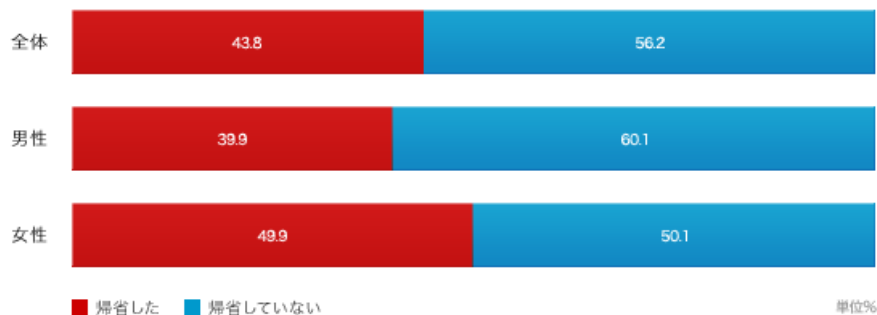
沢山の人が大移動する帰省時期は、様々な思いが交錯する時期でもあります。回答者の皆様からは素敵なエピソードから、笑えるエピソードまで多数寄せられました。まずは、そのほんの一部をご紹介します。

- 仕事のため帰省日を曖昧にしていたら、帰省したときに家族が旅行中だった。1日留守番してました。(福岡県・男性)
- 結婚当初は帰省だけが楽しみでした。いまでは嫁いだ娘の帰省を楽しみにしています。いつまでも元気で、帰省した子、孫にごちそうをつくりたい。(群馬県・女性)
- 独身の頃は全く帰省しませんでした。結婚して子供が産まれた今は、子供が可愛いという親の気持ちが理解できるようになったため、帰省できるときはするようにしています。今年は注文住宅を建てるため、年始から間取り図でアイデアを出し合いながらワイワイしていました。実家の隣に建築予定です。(岡山県・男性)
- 私の実家は栃木ですが高速バスで帰省時に、バスで隣の席が偶然にも高校の同級生！！しかし、そのバスは途中大渋滞・・・そんなハプニングでしたが、渋滞のおかげでか同級生とはたくさん会話をして、今では婚約者に！！人生何があるか分かりませんね・・・(静岡県・男性)

帰省をしたら家族が旅行中だった人から、帰省の道すがら結婚相手を見つけてしまった人まで、帰省にまつわるエピソードはバラエティーに富んでいます。

そんなエピソードと、データを交えながら帰省事情をレポートさせていただきます。

〈 図1:帰省の有無 / 全体・性別 (N=2,371) 〉



## ◎帰る？迎える？50代から変わる帰省事情

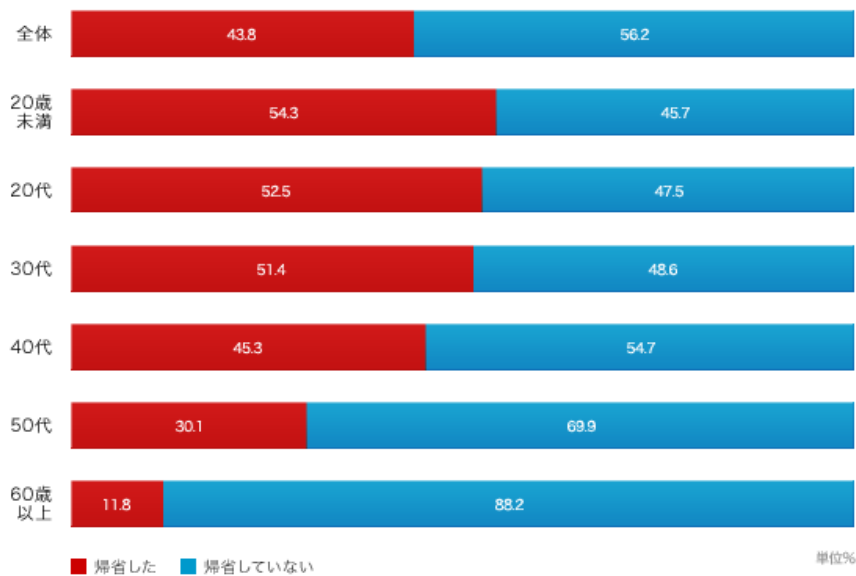
帰省といっても立場は様々、帰省で故郷へ帰る人もいれば、当然、迎える人もいます。どうやら、50代を境に立場が変わるようです。

全体としては、年代が上がるにつれ帰省率は下がる傾向にあるものの、40代までは50%前後で推移しています。しかし、50代以上で、グッと減少します。これは、多くの人が50代を境に“帰省する”側から“帰省される”側に変わるということでしょうか？

やはり、50代以上の方は、“帰省される”側としてのコメントが多く、「娘が嫁ぎ孫も生まれ家族が増えて帰省される側で、ますます忙しいお正月になりました。何時になったら落ち着いたお正月が迎えられるのかと思います。それはそれでまた寂しいものなのでしょうね。忙しいうちが華でしょうか。(東京都・女性)」「帰省も結構ですが、される側は大変。日頃2人で静かに暮らしているのが突然10人程になるんですよ。想像つくでしょう。(東京都・男性)」「帰省される側なので、家族が賑やかでよし、みんな帰ってさみしくなって、ほっとしてさらによしですね。(北海道・女性)」帰省される側としての大変さの中に、みんなが帰ってくることへの喜びが垣間見られます。

帰省をする側も、外出の準備、長い移動時間等、いろいろと大変ですが、帰省される側も大変なようです。

〈 図 2:帰省の有無 / 全体・性別 (N=2,371) 〉



[Q.2] 「はい」と答えた方にお聞きします。  
帰省にはどのくらい時間がかかりましたか？

★こんなにかかる！帰省時間 あえて長旅を選ぶ人も

狭いようで意外と広い日本列島、帰省にかかる時間も人それぞれ、電車で数駅の実家に帰省した人もいれば、『1日以上』の回答では、「千葉県から北海道まで、普通電車を乗り継いで帰省（千葉県・男性）」という方まで。なんと、14.2%もの人が、帰省の移動時間に『半日程度』『1日以上』かけているという結果に。

寄せられたコメントでは総じて“長時間は辛い”という方が多く、「渋滞にうんざり」「交通機関のトラブルで大変だった」という内容も多くありました。

しかし、一方では、帰省にかかる長い時間を楽しんでいる人達も。「帰省の道中も一般道を使っのんびり行くので、穴場のスポットを発見できたり、子供達も楽しめます。（愛知県・男性）」「大学のある東京から青森まで、高校時代の同級生2人と一緒にレンタカーで帰省、男3人での東北道は最高に楽しかった！（青森県・男性）」等のコメントも。移動中の楽しそうな様子が目に浮かびます。

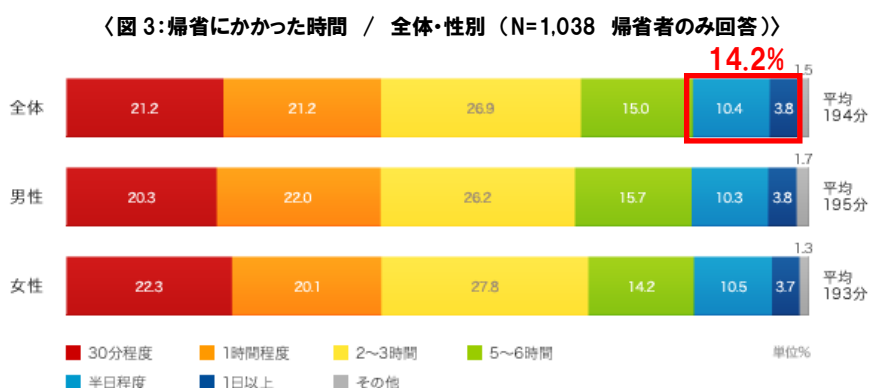
帰省の楽しみがひとつ増える、そんな時間を過ごせるなら何時間でも大丈夫かもしれません。

★今年はいつもより長め??その原因は…

車、新幹線、バス、帰省の際に利用する交通機関は様々。交通機関に関して寄せられたコメントでは、考えただけでも疲れてしまいそうなものもちらほら、「北海道から九州の実家までの帰省で、飛行機も羽田乗換え、いつもこの乗り換えにはドキドキします。羽田のターミナルもすごく歩くし、子連れだと本当に大変。（北海道・女性）」「お金を節約するために、飛行機で帰ってもよさそうな距離を夜行バスで行き来しました。まず、関東から私の実家の福岡へ。次の日の夜には、福岡からまた夜行バスに乗り、旦那の実家の大阪へ。着いた日の二日後の夜には、またまた夜行バスで、関東に。大変ハードな帰省でありました。（千葉県・女性）」

ただでさえ大変な長時間移動ですが、交通機関にはトラブルがつきもの。特に今年は、年末年始にかけての例年になく大雪に苦労された方も多かったようです。「関西から中部に向かう東名阪道。大雪の為、途中の峠道が通行止めとなり、三重県上野あたりで大渋滞。一般道に出て、峠を越えようとしたがどの道も通行止め。戻る道も通行止めとなり、結局普段8時間程度で到着する帰省が30時間ほどかかった。（長野県・男性）」他にも、「高速道路が通行止め」「新幹線に閉じ込められた」「飛行機が飛ばなかった」など大変な思いをされた方が多くいたようです。なかには、「大雪が原因で帰省できなかった」という人も。

どうやら、今年は、例年以上に帰省に苦労された方が多いようです。



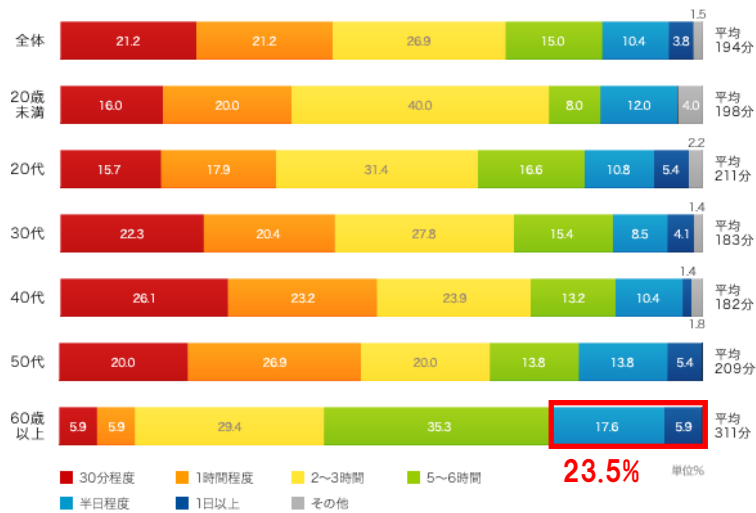
## ★故郷は遠きにありて思ふもの！？故郷が一番遠いのは60歳以上

『ふるさととは遠きにありて思ふもの』遠く離れた地から故郷に思いをはせる、有名な詩の一節です。この詩の意味、意外にも“故郷はいいものだ”と讃えるものではなく、複雑な思いをかかえ“もう二度と故郷に帰ることはないだろう”という詩なんだそうです。

故郷を離れて抱く思いは人それぞれですが、各世代を比較してみると、帰省にかかる時間が長く、『半日程度』『1日以上』との回答が最も多かったのは60歳以上の23.5%でした。

寄せられたコメントには、「退職して時間があるのでバスやこだまでリーズナブルに景色を楽しみながら旅行しています。(千葉県・男性)」「毎年クルマで帰省していますが、最近サービスエリアが充実していますので随所に立ち寄るため高速での滞留時間が年々長くなってきています。(東京都・男性)」等があり、比較的時間にゆとりのある60歳以上の方が、遠方の故郷に思いを馳せながら、のんびりとした帰省を楽しまれている様子が窺えます。

〈 図 4: 帰省にかかった時間 / 全体・年齢 (N=1,038 帰省者のみ回答) 〉



[Q.3] 「いいえ」と答えた方にお聞きします。  
帰省をしなかった理由を教えてください？

◎訳あり？人生いろいろ、帰省しないその理由は？

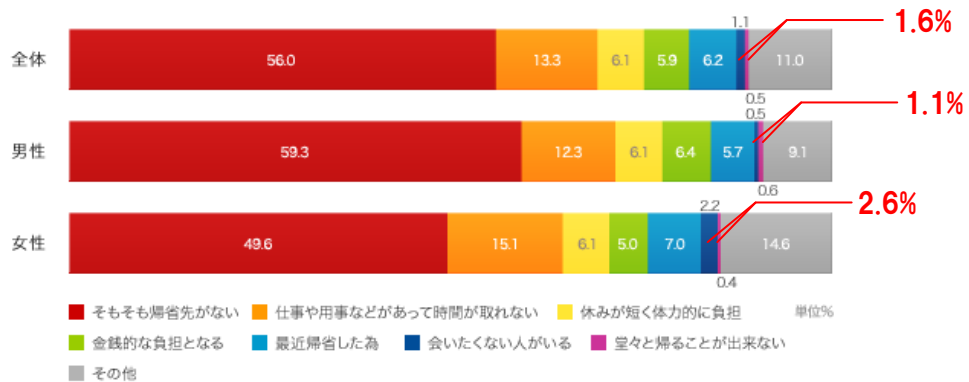
帰省をしない理由トップは男女共に『そもそも帰省先がない』ですが、その理由の多くが、「実家に住んでいる」とのことでした。中には帰省に憧れを抱く人も多いようで、「実家が近く、田舎がない為、帰省は憧れです。(東京都・女性)」「実家の跡継ぎなので帰省の話題には憧れます。(茨城県・男性)」等、帰省をしてみたいというコメントも多数寄せられました。

一方、帰省先のある人は、誰もが望郷の念を持っている訳ではなさそうです。帰省しない理由に『会いたくない人がいる』『堂々と帰ることが出来ない』を挙げた人が全体では1.6%、男性は1.1%、女性はなんと2.6%もいます。

理由は様々なようで、「帰るとお酒で盛り上がるのですが、私は飲めないのでお茶とかジュースと飲んでいると絡まれて、大体は楽しくない思い出が多いかも。(宮城県・女性)」「親戚にはちょっと性格的にキツイ人が多かったです。(埼玉県・男性)」等、比較的ライトなものから、「肉親に会いたくない」という趣旨のコメントも寄せられました。

帰省と一口に言っても、人によって様々な思いがあることがわかります。

〈 図 5: 帰省をしなかった理由 / 全体・性別(N=1,333 非帰省者のみ回答) 〉



## ◎子育て真っ盛り世代、財布が気になる 40代

帰省に必要なものといえば、忙しい現代人にはなかなかとれない“時間”長時間の移動に必要な“体力”あとは、交通機関、移動中の食事等に必要な“お金”。中でも、このご時世、特に気になるのはやはり“お金”ではないでしょうか？

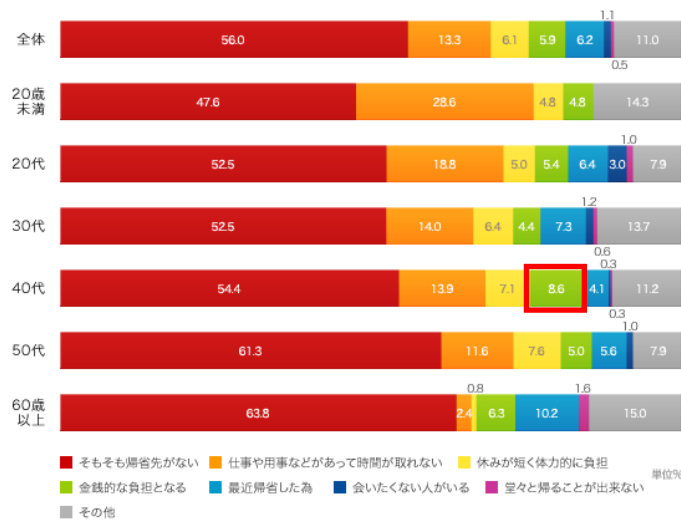
帰省しない理由に、『金銭的な負担となる』を挙げたのが最も多かった世代は40代の8.6%。やはり40代といえば子育て世代、普段の出費も気になりますが、特に帰省となれば、人によってはかなりの出費になるはず。仮に、東京から九州まで4人家族で帰省した場合、往復でかかる費用は飛行機ならおよそ30万円弱、新幹線でも18万円近くになります。

これはかなりの出費！子育て真っ盛りの40代が、他の世代より金銭的な負担を理由に帰省しない理由も頷けます。

金銭的な負担を気にするコメントの中には、「帰省したいのは山々なのですが、給料も下がり、さらに帰省のためのお金がかさむのでなかなか帰れないです。10年くらい帰っていません。(北海道・男性)」等、かなり深刻なものから、「お年玉でボーナスが吹っ飛んでしまおう。(東京都・男性)」等のコメントもありました。

実は、お年玉もお財布に結構なダメージを与えているようです。

〈 図 6: 帰省をしなかった理由 / 全体・年齢(N=1,333 非帰省者のみ回答) 〉



以上